

## 第39回日本ペストロジ－学会神奈川大会開催実績報告書

## (開催実績)

学会参加者数	4 1 1 名	懇親会参加者数	2 7 1 名
講演発表	2 1 講演	協賛展示出展	2 2 社・団体

## (開催内容)

第1日目		11月9日(木)
9:10～	参加・登録受付	神奈川県立県民ホール小ホールホワイエ
9:30～11:20	若手談話会(受付 9:15～)	産業貿易センターB102会議室
10:00～12:00	学会評議員会	産業貿易センター3F302会議室
12:00～17:00	協賛企業展示	県民ホール6F大会議室
13:00～13:10	開会挨拶(大会長武藤敦彦)	県民ホール小ホール
13:10～14:44	一般講演1～7	
15:00～17:00	シンポジウム(講演・総合討論) 「失敗は成功のもと－失敗事例から学ぶペストコントロール」	
18:00～20:00	懇親会	ホテルニューグランド タワー館 ペリー来航の間
第2日目		11月10日(金)
9:10～	参加・登録受付	県民ホール小ホールホワイエ
9:10～13:00	協賛企業展示	県民ホール6F大会議室
9:20～11:40	一般講演8～17	県民ホール小ホール
12:50～13:20	日本ペストロジ－学会総会	
13:20～13:30	学術奨励賞表彰式	
13:55～	一般講演18～21	
15:00	閉会挨拶(実行委員長 原島利光)	

## (開催状況) 以下、写真のとおり

11月8日13時～ 50人体制により県民ホール・産業貿易センターで開催準備を実施



(写真は準備作業開始前に舞台上で記念撮影)



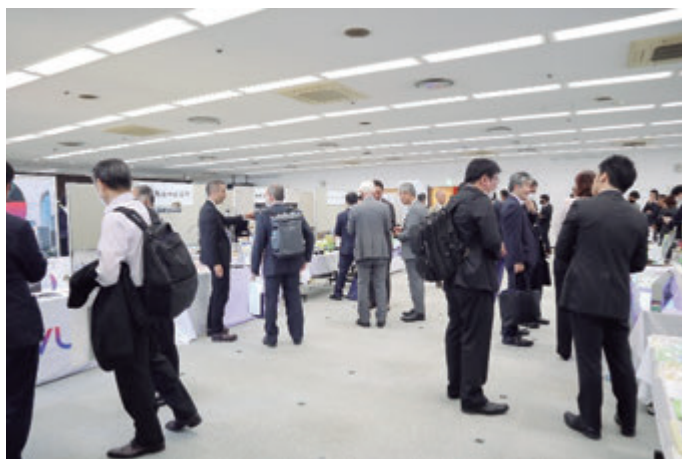
(第1日目) 11月9日(木) 9:10から県民  
ホール小ホールロビーで受付開始



13:00～ 県民ホール小ホールにて学会開  
会挨拶(大会長武藤敦彦)



(各シンポジストの講演後に行われた総合  
討論)



12:00～17:00 協賛企業展示(6F大会  
議室) 展示会開催直後の状況



18：00～ 全国から271名が集まった懇親会風景（ホテルニューグランドペリー来航の間）



（第2日目） 11月10日（金） 15：00 閉会挨拶（実行委員長 原島利光）

16：00 後片付けを終えた運営スタッフの集合写真



(準備の経過)

第39回ペストロロジー学会神奈川大会タイムテーブル(実施結果)

月 日	摘 要	大会長	会長
令和3年			
12月8日	大会開催要請書(学会常任評議員名義)受理		○
12月21日	理事会にて学会神奈川大会開催受諾することと開催方式は実行委員会方式とし、大会長は武藤特別顧問にお願いすることを決定		○
12月22日	県民ホール・産業貿易センターと日程等調整		○
令和4年			○
5月10日	理事会にて、学会会場として県民ホール・産業貿易センターの確保ができたことの報告があり、その後、会長が県・横浜市に後援依頼することを決定		○
6月17日	神奈川県知事、横浜市長への支援・後援のお願い		○
7月12日	理事会にて武藤大会長と三役が実行委員会の事前打ち合わせをすることとその内容を審議し決定		○
9月1日	実行委員会準備会(武藤大会長・協会三役) (委員会構成、今後のスケジュール、会場予約状況確認、大会キャッチフレーズ、シンポジウム構成を協議)	○	○
9月13日	理事会にて実行委員会準備会の概要を説明		○
9月15日	県民ホール特例利用申請(県生活衛生課副申)		○
9月28日	実行委員委嘱状を送付		○
11月10日	第1回実行委員会(会場確認、展示会場変更、シンポテーマ検討、輪番制でなく座長選任、スケジュール検討、埼玉大会での事前告知について協議・決定)	○	○
12月5・6日	第38回埼玉大会参加(12/5日(月)・12/6日(火))	○	○
12月20日	理事会にて学会大会準備推進上の懸案事項を検討した		○
令和5年			
1月8日	県民ホールから「展示会が学会発表の成果と関連があることを前提に会議室使用許可する」との回答		○
1月27日	横浜市に後援依頼		○
2月10日	県に後援依頼・抄録集への知事挨拶文依頼		○
2月14日	横浜市に後援申請手続き		○
2月27日	県民ホール利用申込書提出前事前調整		○
3月6日	郵便振替口座開設		○
3月14日	第2回実行委員会開催(キャッチコピー、Googleフォーム採用、当日日程、参加費、抄録集価格、抄録印刷部数、展示ブース料、シンポジウム構成、懇親会来賓、大会開催案内、運営体制構築、運営マニュアル作成等決定)	○	○

月 日	摘 要	大会長	会長
3月～	大会運営マニュアル作成作業開始 (埼玉大会運営マニュアルを下敷きに富山県、栃木県の各大会資料の有用な要素を加味し、事務局が原案として取りまとめ、4月以降の協会委員会で担当班の部分を協議検討し、理事会の確認を得て徐々にブラッシュアップし、7月実行委員会までに素案を作成、会場下見に活用し、下見の結果を加味し、最終的に10月末まで検討を続け、10月31日に各運営スタッフの手元に送付した。)		○
4月3日	横浜市コンベンションビューロー助成金申請		○
4月14日	協会全会員に運営スタッフ派遣を依頼		○
4月中旬	大会案内に同封する中華街ガイドマップ等を入手		○
4月17日	学会員住所ラベルを学会事務局から受領(大会案内用)		○
4月26日	シンポジウム講師依頼	○	○
5月1日	大会案内郵送(1,394名)		○
5月1日	大会プログラム広告掲載・展示ブース協賛依頼		○
5月1日	Google フォーム作成依頼(学会事務局に)		
5月8日	関係者への招待状の送付(学会名誉会員6名)		○
5月9日	理事会にて、実行委員会分担名簿の確定、招待者等の学会参加費・懇親会参加費等の取扱い等について審議		○
5月15日	日本ペストコントロール協会に協賛依頼		○
7月18日	第3回実行委員会(開会前に運営マニュアルを参照しながら県民ホールを下見、学会申込状況報告、当日の受付方法検討、講演カテゴリー・発表順・座長選任を大会長に一任、懇親会来賓決定、抄録集編集方針決定)	○	○
8月15日	演題・抄録原稿締め切り、8/31展示ブース参加締切		○
8月23日	8月23日午前0時をもって懇親会募集締切(定員250人)		○
8月31日	広告・展示ブース参加締切		○
9月上旬	抄録集原稿を順次印刷所に送付		○
9月4日	大会長から講演カテゴリー、講演順、座長候補名簿届く	○	
9月5日	大会長・事務局が分担して座長就任を打診し了解を得た	○	○
9月12日	会員宛名ラベル学会事務局から受領(抄録集発送用)		○
9月15日	座長就任依頼(9月3日以降電話にて就任内諾を得た)	○	○
9月19日	理事会にて、参加登録者名簿の確認、受付に大型手荷物のクロークを設置し、乾杯を前日本協会会長にお願いすることを決定し、二次会用優待券の作成作業状況の報告があった。		○
10月2日	プログラム抄録集発送(413名)		○
10月以降	学会当日の物品をレンタル・購入により調達、コンgresバックを発注		○
10月10日	展示会事前打合せ(下見と展示ブース配置を抽選決定)		○
10月26日	口演スライド提出締切		○
10月31日	協会役員・運営スタッフに運営マニュアル送付(役員は全体マニュアル、その他スタッフは担当班マニュアル)		○

月 日	摘 要	大会長	会長
11月6日	各座長用プログラム(フリガナ付き)進行メモ送付	○	○
11月9・10日	第39回神奈川大会開催(11/8準備・11/9・11/10)	○	○
11月22日	第39回神奈川大会お礼状発送(大会長・実行委員長連名:シンポジスト、座長にメールにて)(実行委員長名:議員、知事、市長、日本協会、他県協会に郵便にて)	○	○
12月1日	横浜市コンベンションビューローに終了報告書提出		○
12月5日	神奈川県知事、横浜市長への後援事業報告書の提出		○
12月21日	理事会(学会大会開催実績報告・収支決算承認)		○
12月22日	学会本部・日本協会に大会開催実績報告・収支決算報告		○
12月25日	郵便振替口座解約		○

### (事務局報告)

#### 1. 会場確保

芸術の秋は劇場にとって超繁忙期なので、利用受付の始まる開催1年前を待っていると希望する日程を押さえることは困難になります。今回は、学会開催の打診が学会開催日の2年以上前でしたので、施設設置者である県的生活衛生課の後援をいただき、早いうちから会場と日程のすり合わせができ希望通りの日程で会場を確保できました。

#### 2. 行政の協力確保

県・市の後援をいただくことは、学会開催準備を進める上で大変大きな後押しになります。項番1で書いたように学会会場の確保や公的助成金を申請するうえで必要な手続きといえます。今回は、学会開催について、令和4年6月と令和5年2月に協会三役が県・市の所管課長さんに要請し後援をいただくことができました。

#### 3. 実行委員会

学会大会は日本ペストロジー学会の会員が研究結果を発表する学術的行事です。これを開催するために神奈川県協会は、令和4年9月に実行委員会準備会を開催し、県内外の学会関係者7名と協会役員12名が参加する実行委員会を発足させました。その後、実行委員会は令和4年11月から令和5年7月まで計3回開催され重要事項を決定し、当協会はこの決定に従い準備を進めることとなりました。なお、実行委員会は、委員の負担軽減という意味もあり、2か月ごとに開かれる理事会の終了直後に同じ会場(協会会議室)で開催するという方法をとりました。

#### 4. 運営スタッフ募集

学会大会には全国から400人前後の関係者が集まるという大規模で複雑な事業であります。これに対応するため令和5年3月14日開催の第2回実行委員会で学会運営体制の構築が決議されました。そこで協会は4月14日付けで協会の全会員に応援派遣を依頼し、多くの皆様のご協力をいただき事務局職員も含め50人の運営スタッフを得ることができました。

## 5. 運営マニュアル作成

大規模な運営体制が効果的に能力を発揮するためにはマニュアルが必要となります。

令和5年3月14日開催の実行委員会で埼玉大会の運営マニュアルを参考に神奈川大会のマニュアルを作成することが決議されました。そこで事務局は埼玉大会のマニュアルを神奈川大会版にカスタマイズしたマニュアルをたたき台として各委員会に提示し、4月以降の各委員会で毎回検討を重ね、7月18日開催の第3回実行委員会で行われた県民ホール下見の結果も加味し、最終的に10月開催の各委員会までに各班の担当するマニュアルを練り上げていただくことができました。そしてこの成果を1冊に合冊し、協会役員には全体版を、応援派遣をいただいた班員の皆様には各班ごとのマニュアルを10月31日に配付することができました。

## 6. 学会大会のご案内

学会大会のご案内については実行委員会が決定した日程に沿って、学会開催日の半年前発送を目標に作業が進められました。令和4年11月10日開催の第1回実行委員会では、会場や大まかな日程、Googleフォームの採用など大会の骨子が決定され、令和5年3月14日開催の第2回実行委員会では、大会キャッチコピー、当日日程、シンポジウム構成、懇親会来賓、参加費、各種料金など詳細まで決定いたしました。この内容を「学会大会のご案内」としてとりまとめ、記述内容も慎重に確認していただき、日本ペストロロジー学会事務局提供の宛名ラベルにより5月1日に1,394名の関係者に発送することができました。あわせて、大会プログラム広告掲載、展示ブースによる協賛依頼、招待状の発送も行いました。

## 7. 抄録集印刷

抄録集作成・発送は実行委員会が決定した日程に沿って、学会開催日の1ヶ月前発送を目標に作業を進めました。令和5年7月18日開催の第3回実行委員会で、抄録集の編集方針が決定された。あわせて講演カテゴリー・発表順・座長選任は大会長に一任することも決定されました。その後、8月15日の講演申し込み締め切り、抄録原稿提出締め切り、さらに大会長の講演カテゴリー・発表順・座長候補者の検討を待つて9月上旬に抄録集原稿が確定し、9月中の抄録集納品を受け10月2日に学会員、抄録集購入の方々合計413名の皆様に送付することができました。

## 8. 機材調達

機材調達は、東京都協会をはじめ、他県協会の資料を参考に原案を作成し、各委員会で確認をしていただきました。予備のプロジェクターは日本ペストコントロール協会からお借りし、予備パソコンはレンタルし、その際の業者選定は担当委員会にお決めいただきました。当日受付で配布する資料袋は横浜コンベンションビューローに有無を確認したところ、作っていないとのことでしたのでコングレスバックを発注しましたが、発注から納品まで3週間を要しました。

## 9. 参加登録

参加登録はGoogleフォームから受け付けることに実行委員会が決定しました。日本ペストロロジー学会事務局の横田さんにGoogleフォームを作成していただきました。

参加登録の手順は下記の通りです。

①参加希望者は案内に記載したQRコードをスマートフォンで読み取り、Googleフォームから氏

名等入力し、希望内容にチェックして送信する。

②事務局から受付番号、申込内容、払込金額と払込書の記入例を返信する。

③事務局は名簿を作成し、入金をチェックして学会参加登録を完了。

5月1日に学会大会のご案内を郵送して受付は5月8日の連休明けの作業になりましたが、事務局は害虫相談の電話が殺到し、その対応に一日中追われ、②のメール返信が遅れてしまいました。そのため申し込みが届いたかどうかわからず繰り返しGoogleフォームの申込をされた方がおられ受付件数が実数を大きく超えてしまうという現象も生じました。複数の氏名を入力されている方もあるため、想定以上に確認作業に手間取りました。しばらくたっても複数回申し込みは続き、ご本人が参加登録しているのに、会社の事務の方が再度申し込むというケースもたびたびありました。

参加者が多数ある会社から「まとめてファックスかメールで申し込みしたい。」というご希望もありました。また、Googleフォームでの申し込みを経ずに直接、郵便振替口座に入金される方もありました。さらに、受付開始の直後には郵便振替払込取扱票に誤植があったため払込みできないというトラブルもありご迷惑、ご心配をおかけしてしまいました。心からお詫び申し上げます。このような事態を事前に想定して作業の段取を考えておくことの大切さを痛感しました。また、開催の直前まで参加希望の方の申し込みが続き、これにキャンセルや参加者変更の申出も続き、学会開催の直前まで受付名簿が確定できないという事態も生じました。こういった事態はGoogleフォームの受付を学会開催の数日前に停止することにより鎮静化しました。

なお、学会参加申込期間中の8月23日に懇親会参加者が定員の250人に達したため懇親会参加申込を締め切りました。学会、懇親会とも多くの皆様のご参加をいただき心から感謝申し上げます。

## 10. 経理事務

経理事務については、令和5年3月に開設した郵便振替口座に入金し、支出は神奈川県ペストコントロール協会が仮払いして、収入と支出が確定したところで郵便振替口座と仮払金を清算しました。収支差額は0円となり、その後12月25日に郵便振替口座を解約し、経理業務をすべて終了しました。

## 11. その他

学会大会の準備に詳しい方から「講演者から提出物の差し替えを求められて苦勞した。」と伺いましたので、そのお話を参考に次の2つのことを行いました。

①抄録集の作成に当たって抄録原稿の締め切りが設定(8/15)されておりますが、講演申し込みのあった皆さんには締切日の確認メールを8月10日に送信しました。また、提出締切から印刷所への原稿送付までの間には座長選定のため約2週間の間隔がありましたので、「すでに提出された要旨原稿の変更は8月31日までにお問い合わせください」とのメールを8月26日に送信しました。その結果、1名の発表者から、「8月の実験データを確認したところ、抄録原稿と真逆の結果が出た」とのことで原稿の全文差し替えを求められましたので対応致しました。

②講演の際にスライドが映写されますが、このスライドについて講演者の皆さんへの対応として、口演スライドの締切日程が近づいたとのお知らせと、すでにご提出いただいたスライドの差し替えは8月26日までにお問い合わせをしましたが、結果として、締切を守れな



い方も差し替えを求めた方もいらっしゃいませんでした。

以上ご報告を申し上げましたが、神奈川大会の準備作業には2名の短時間勤務職員が従事し、そのうち1名は2年間専従で、もう1名は1年間、害虫相談の対応をしながら主に経理、調達と参加登録の事務を担当しました。2名とも学会準備は初めてでしたので不慣れで、至らない点が多々あり、皆様にはご不便ご迷惑をおかけいたしました。なんとか年内に事業報告を済ませることができました。これもご指導・応援をいただいた多くの皆様のおかげと感謝しております。とりわけ学会当日の運営スタッフの皆様には、事務局の準備不足や不手際をそれぞれの現場で解決していただき大変ありがとうございました。また、シンポジウムの企画、一般講演の演題のカテゴリー分けと座長候補の人選をいただくなど、学会面でご指導をいただいた武藤大会長、大規模な運営体制を早期に立ち上げるなど準備を強力に推進していただいた原島実行委員長にこの場をお借りして心から感謝を申し上げ報告を終わります。